



アクティブラーニングを用いた英作文指導
～東京大学の問題に挑戦～

兵庫県立神戸北高校 教諭 扇園尚孝
高英研神戸支部役員

授業をしてみたの提案

- ①グループ分け→慣れていない間は、生徒の学力と性格を総合して教師が決める。
- ②Individual Partは宿題化する。宿題をしなければ授業に参加できないような仕組みを作る。
- ③日頃の演習も忘れない。
- ④上位層には「和文和訳」などの「英作文のコツ」を指導しておく。

①グループ分けは最初は教師で

◦ 英語が苦手な生徒同士が組んでしまうと、このような事態になります

- 「英単語が出てこなーい。文法分かんなーい」
- 「そもそも、何をすればいいのか、わかんなーい。」

→ 「こんな授業嫌だ。適当におしゃべりしよう。」

好きな人とグループを自由に組ませても同様。

グループワークが「おしゃべりタイム」になってしまう。＝授業崩壊！

『落第忍者乱太郎』（忍たま乱太郎）より

- 「3人寄れば文殊の知恵」というけれど・・・
- 「水に水たしても水なんだよな」

様々な生徒がいるからこそ・・・

- 「水に水を足して」も、「水である」ことは変わらない。
→質は変わらない
- しかし、様々な種類の化学薬品を混ぜていけば化学反応が起こりえる。

同質の生徒が集まっても学びは少ない

英語が苦手

中間

英語が得意

多様な生徒が集まるから学びは生まれる

教師の役割

ある強豪校の放送部顧問の格言

「『生徒だけ』では何をすればいいかわからない。
『教師だけ』が頑張っても、教師が空回りするだけ。
生徒と教師が『共鳴』するからこそ結果が出る。」

これは授業にも当てはまるのでは？

教師と生徒の「共鳴」が大切

- 生徒と教師が「共鳴」するからこそActive Learningは生きる
- Active Learning(教えない授業)は・・・、「教師は何もしなくてよい」というわけではない
=facilitationの技術やmanagementの力が必要
むしろ、これまで以上に難度が上がる！

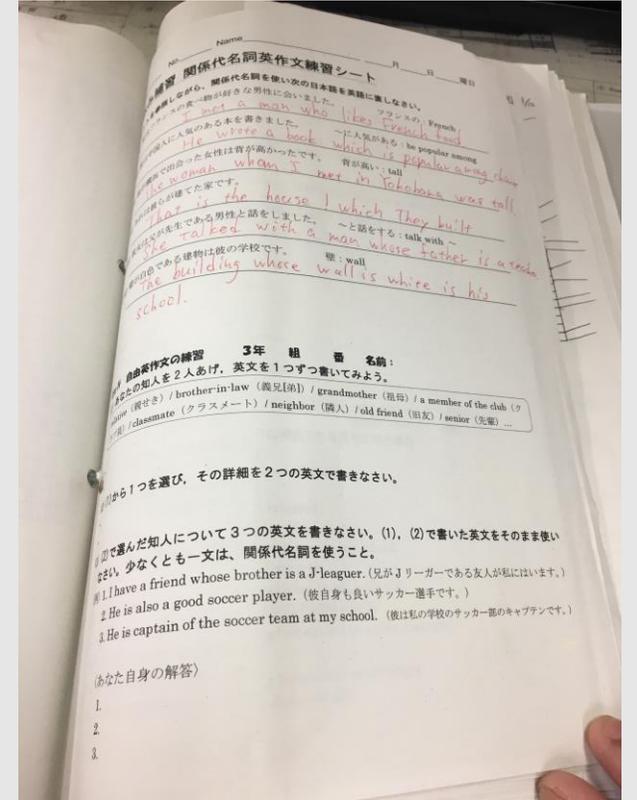
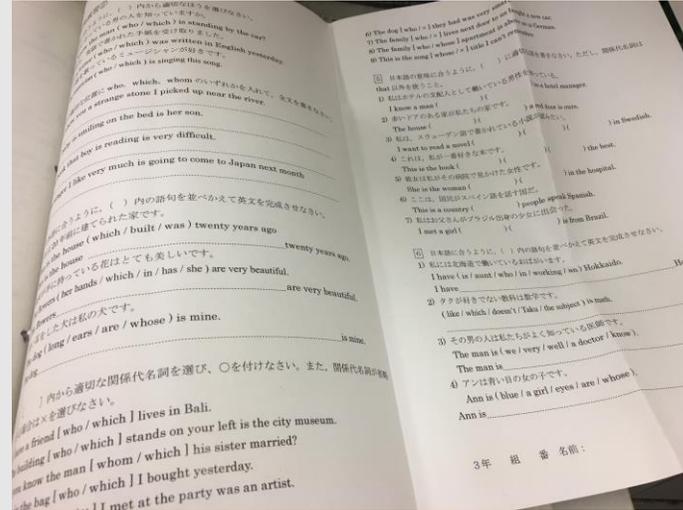
②Individual Partの宿題化

- やはり50分の授業という枠では、時間がかかります。
- 「個人で」かつ「家で」できることは宿題化し、家で考えてきて授業で生かすという仕組みを作る必要あり
- 宿題が習慣化されるよう「システム」を作って「賢く」指導する。

③日々の授業内外の練習も大切です

- 中間～上位層の生徒は各文法事項の問題演習を「たくさん」こなしています。
- 教師自作の演習プリントを毎回の「翌日提出課題」とし、取り組ませています。
- 演習のなかには日→英の英作文の問題や自由英作文の問題もあります。

翌日提出課題



完全には否定できない文法演習 (Practice)

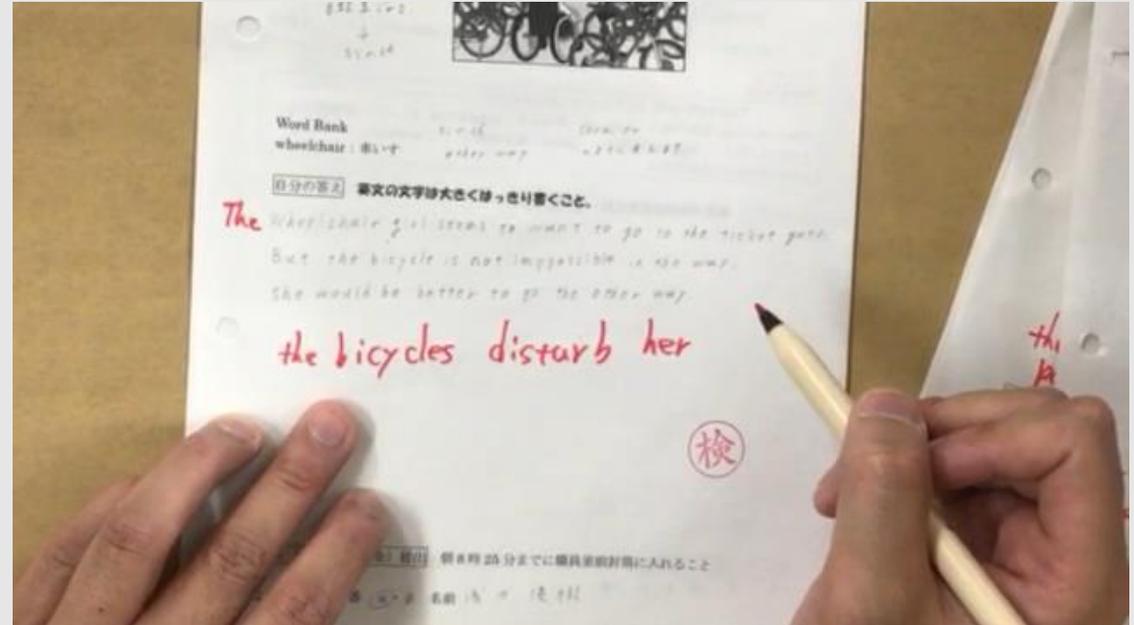
- 次期指導要領「英語表現」→「論理・表現」
- 「文法ベースの教科書」は作れません。（採択されない）
- ただし、現実問題として、「文法問題演習」が必要です。（ドリルー辺倒でもダメですが）
- Presentation（説明）→Practice（練習）→Production（作文・会話）の流れ
 - ・ ・ ・ でないと、EFLの環境では指導が難しい。

上位層への指導

- 難関大学進学者向け行事の「学習合宿」で和文和訳のトレーニングを入れました。（8月初旬）
 - 冬休み中は、希望者を募って英作文の練習もさせました。
- こういった生徒を中心に「司会役」を任命し、けん引させています

45回生（現3年）の取り組み

- 教師がタブレットPCをOHC（実物投影機）として使い、生徒の英作文を実況中継で添削する時間を設けています。



45回生（現3年）の取り組み

- C英語では、「4技能統合授業」を積極的に行い、自由英作文の指導も行っています。
 - 7月模試の偏差値は過去5年間の同一月内で最高！
 - 推薦では福知山公立大に合格1名
 - 公募推薦で神戸学院大学薬学部 合格1名

Active Learningが叫ばれますが、課題も

①今回は、少人数のクラスであったが、35名～40名規模のクラスのグループ編成をどうするか？

→個々の生徒を把握しきれる？うまく班編成できる？

②「教員間で統一した指導」ができるか？

→「指導の一貫性」がなければ授業実施や評価がしにくい

→Active Learning、4技能統合授業を「職人芸」にしては×

→誰でも取り組めるよう、システムづくりを！

最後に 生徒の個別作文から

◦ *She is surprised to see that her figure in the mirror is different in this picture. In fact, this mirror is a mirror reflecting herself in another world. I think that people are expressing many possibilities.*

(宝多六花さん)

生徒の可能性を引き出すのが、「教育」ではないか？

educateの語源はラテン語の”educare”=「引き出す」

0点かもしれない。けれど・・・

- キムタツ先生など、東大合格のプロから見れば今回の作文も0点かもしれません
- しかし、大切なのは「跳躍力」を身に着けること
- 「高いハードルを越えるために身に着いた跳躍は・・・そのあとにどんどん出てくるハードルを越えるのにも役立つ」 『エンゼルバンク ドラゴン桜外伝』より

受験指導とは . . .

○生徒の「成長を促す場」

「無難で安全が生徒のためではない

偏差値や点数は「生徒が成長」すれば、伸びていく！

生徒に挑戦させないのが罪だ」

○教師の役割

「生徒の挑戦を受け止め支援」

『ドラゴン桜2』より

「論理的な戦略を用意し、勝てる可能性を上げる」

「可能性」という「神」を信じて

。ご清聴ありがとうございました！

